



## IDPay 2年間のロードマップ(2026年末 - 2028年末)

### 第1四半期(2026年Q4 - 2027年Q1): コアインフラの開発と匿名支払いソリューションの統合

- 目標: IDPayの技術インフラを完成させ、匿名支払いソリューションを統合し、テストを開始する。
- アクション:
  1. スマートルーティングプロトコル(SRP)の開発:
    - ビットコイン、イーサリアム、Solana、バイナンススマートチェーンなどの主要ブロックチェーンを統合。
    - レイヤー2ソリューションとクロスチェーンブリッジを実装。
  2. 匿名支払いソリューションの統合:
    - ゼロ知識証明(ZKP): 取引の匿名性を確保するためにZKP技術を統合。
    - ミキサー技術: 取引を追跡不能にするためにミキサー技術を使用。
    - 動的アドレス生成: 各取引ごとに新しいウォレットアドレスを生成し、匿名性を強化。
  3. ユーザー登録とID割り当てシステム:
    - ユーザーに一意的IDを割り当て、複数のブロックチェーン上のウォレットアドレスと関連付けるシステムを開発。
  4. テストネットの立ち上げ:
    - IDPayのテストネットワーク(Testnet)を立ち上げ。
    - 開発者や初期ユーザー向けにベータ版を提供。
  5. セキュリティ監査:
    - スマートコントラクトとシステムインフラの独立したセキュリティ監査を実施。

---

### 第2四半期(2027年Q2 - 2027年Q3): パイロット実施と匿名支払いソリューションのテスト

- 目標: 実際のユーザーでIDPayをテストし、匿名支払いソリューションを最適化し、ユーザーフィードバックに基づいて改善する。
- アクション:
  1. パイロット開始:
    - 限定数のユーザーでパイロットプログラムを開始。
    - 匿名支払い機能(ZKP、ミキサー技術)を強調。

2. ユーザーフィードバック:
    - パイロットユーザーからのフィードバックを収集。
    - 匿名機能とユーザーフレンドリーなインターフェースを改善。
  3. プライバシーとセキュリティの強化:
    - ZKPとミキサー技術を最適化。
    - ユーザーデータを保護するための追加のセキュリティ対策を実施。
  4. ドキュメントとトレーニング資料:
    - 開発者とユーザー向けの包括的なドキュメントを準備。
    - 匿名支払い機能の使用方法に関するチュートリアルとガイドを公開。
- 

### 第3四半期(2027年Q4 - 2028年Q1):メインネットの立ち上げと匿名支払いソリューションのプロモーション

- 目標: IDPayのメインネット(Mainnet)を立ち上げ、匿名支払いソリューションを宣伝し、より広いユーザー層にリーチする。
  - アクション:
    1. メインネットの立ち上げ:
      - IDPayのメインネットワーク(Mainnet)を正式に立ち上げ。
      - すべてのユーザーにアクセスを開放。
    2. 匿名支払いソリューションのプロモーション:
      - ZKPとミキサー技術を主要機能として強調。
      - プライバシー重視のユーザー向けに特別キャンペーンを実施。
    3. マーケティングと認知度向上キャンペーン:
      - ソーシャルメディア、ブログ、暗号通貨コミュニティでIDPayを宣伝。
      - インフルエンサーや業界リーダーと協力。
    4. 戦略的パートナーシップ:
      - 電子商取引プラットフォーム、決済ゲートウェイ、DeFiプロジェクトと提携。
    5. ユーザー成長:
      - ユーザー採用を促進するためのインセンティブプログラム(例:無料取引や報酬)を開始。
- 

### 第4四半期(2028年Q2 - 2028年Q4):スケーリング、新機能、グローバル展開

- 目標: IDPayをスケーリングし、新機能を追加し、グローバル市場に進出する。
- アクション:
  1. 新たなブロックチェーンの統合:
    - Polkadot、Cardano、Avalancheなどの新たなブロックチェーンを統合。
  2. DeFiとNFTの統合:
    - 分散型金融(DeFi)プラットフォームとNFT市場との統合を実現。
  3. 匿名支払いソリューションの拡張:

- 新しい匿名技術(例:リング署名やステルスアドレス)を研究し、統合。
  - 4. 企業向けソリューション:
    - 企業顧客向けのカスタム匿名支払いソリューションを開発。
  - 5. グローバル展開:
    - 各国の規制要件を遵守し、グローバル展開を図る。
  - 6. コミュニティとエコシステムの発展:
    - ハッカソン、報酬プログラム、教育イベントを開催し、IDPayコミュニティを拡大。
- 

## 成功指標

- ユーザー数: 2027年末までに50万人のアクティブユーザー、2028年末までに200万人のアクティブユーザー。
- 匿名取引率: 2028年末までに全取引の30%が匿名機能を使用。
- 取引量: 2027年末までに月間500万取引、2028年末までに月間2000万取引。
- 統合数: 2028年末までに20の主要な電子商取引プラットフォームと10の主要な取引所と統合。
- セキュリティ: セキュリティ侵害ゼロ、独立したセキュリティ監査に合格。
-